2026 年 10 月 23 日【第 26-29 号】

～王子グループ×クラブツーリズム×アスエク～
『王子の森 四万十』森のひらきプロジェクトに参画

自然資本を活かした体験プログラムの開発・企業向け研修・視察ツアーの造成を推進

クラブツーリズム株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役社長：酒井博、以下クラブツーリズム）は、王子ホールディングス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 CEO：磯野裕之、以下王子ホールディングス）が進める『王子の森 四万十』森のひらきプロジェクト（以下、本プロジェクト）に、株式会社アスエク（本社：東京都港区、代表取締役：市川隆志、以下アスエク）とともに参画します。

本プロジェクトは、王子ホールディングスが環境省の「令和8年度 良好な環境を活かした観光地域づくりモデル事業」に提案し、採択された取り組みです。高知県四万十町に所在する王子グループの木屋ヶ内（こやがうち）社有林を舞台に、地域住民や地域事業者、観光事業者、行政機関などと連携しながら、豊かな自然環境の保全と観光を両立させる新たな地域づくりモデルの構築を目指すものです。

クラブツーリズムは、旅行商品の企画・造成や顧客との接点づくりで培ってきた知見を活かし、自然資本の価値を体感できるプログラムの開発や、企業向け研修・視察ツアーの企画などを通じて、魅力発信と持続可能な地域づくりに取り組んでまいります。

「王子の森 四万十」森のひらきプロジェクト概要

本プロジェクトの舞台となるのは、王子グループが所有する高知県四万十町の木屋ヶ内社有林です。約 258ha に及ぶ森林は、四万十川流域の豊かな水環境と生物多様性を支える重要な自然資本であり、絶滅危惧種のヤイロチョウが生息する森林としても知られています。王子ホールディングスは、2016 年 8 月に公益社団法人生態系トラスト協会（以下生態系トラスト協会）と「ヤイロチョウ保護協定」を締結し、2023 年に木屋ヶ内社有林が環境省の「自然共生サイト」に認定され、その後 OECM※として国際データベースに登録されました。

※OECM（Other Effective area-based Conservation Measures）：保護地域以外で生物多様性の保全に資する地域。自然共生サイトに認定された区域のうち、保護地域との重複を除いた区域が OECM として国際データベースに登録されます。

本プロジェクトでは、木屋ヶ内社有林を中心とした四万十町内の豊かな自然と周辺地域を舞台として、生態系トラスト協会、NPO 法人 RIVER、四万十町役場といった地域共創メンバー（連携団体）と連携しながら、地域住民や事業者、来訪者などが森林と関わり、自然の価値を学ぶ機会を創出します。

今後は、森林や地域社会との関わりを通じて新たな価値の創出を促す企業向けプログラムや、海外企業・団体などによる MICE※関連視察やツアーの受け入れも視野に入れ、四万十川流域の自然と地域文化の魅力を国内外へ発信いたします。また、観光や交流によって生み出された価値の一部を環境保全へ還元することで、「保全と利用の好循環」の実現を目指します。

※MICE：企業等の会議、報奨・研修旅行、国際会議、展示会・イベントなどを目的としたビジネス交流・集客の総称







キックオフイベント開催概要

本プロジェクトの始動にあたり、王子ホールディングス主催のキックオフイベントが開催されます。当日はプロジェクトの概要説明や関係者によるクロストーク、テーマ別の対話などを通じて、自然資本を活かした地域づくりの可能性について考えます。

開催日:2026年11月18日(水) 15:00～17:00予定(14:30受付開始)
定員:60名(1団体最大2名まで)※リアル会場のみ
場所:虎ノ門ヒルズビジネスタワー4F ARCHインキュベーションセンター
主催:王子ホールディングス(OMO王子の森活性化推進部)
企画協力:クラブツーリズム／アスエク
詳細:
15:00-15:30 王子ホールディングスよりプロジェクト概要説明
15:30-16:15 プロジェクト推進に関するクロストーク
＜スピーカー＞
環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境創造室 室長 森川政人様
NPO法人RIVER 理事長 畦地履正様
王子ホールディングス(OMO王子の森活性化推進部)マネージャー 橋本俊市様
クラブツーリズム株式会社 クラブ・コミュニティ事業部 鈴木光希
＜ファシリテーター＞
アスエク 代表取締役社長 市川隆志様
16:15-16:25 現地体験視察ツアーのご案内
16:25-16:30 クロージングトーク
16:30-17:00 名刺交換会
※登壇者が当日一部変更になる場合がございます。

プロジェクト関係者コメント

■王子ホールディングス株式会社 (OMO王子の森活性化推進部) 橋本俊市様

私たち王子グループは、森林資源を活かす企業として、100年以上にわたり森を守り育ててきました。その中で、森林が私たちの事業を支える基盤であるとともに、地域の産業や文化、暮らしを支える『地域の基盤』であると実感しています。本プロジェクトでは、『王子の森 四万十』を地域や社会にひらき、多くの方に自然と人とのつながりを体感していただきたいと考えています。そして、自然資本や地域を支える活動に共感し、応援してくださる方を増やすことで、四万十町の皆さま、クラブツーリズム様、アスエク様と共に、良好な環境の保全と活用が循環する、新たな森づくりであり地域づくりに挑戦してまいります。

■株式会社アスエク 代表取締役社長 市川隆志様

森は木材を生み出すだけでなく、水を育み、多くの生きものを支える、地域にとって大切な基盤です。王子ホールディングスは、全国約650カ所に社有林を保有・管理しています。今後も私たちが自然からの恵みを享受し続けるためには、こうした森林が持つ自然資本としての価値を社会全体で共有し、適切に評価していくことが重要です。本プロジェクトでは、観光というビジネスモデルとサプライチェーンを活用し、訪れる人が森や自然の価値を実際に体感するとともに、その保全に継続的に関わる仕組みづくりに挑戦します。王子ホールディングス様、クラブツーリズム様、そして四万十地域のみなさまとともに、観光をきっかけに自然との新たな関わり方を生み出していきます。四万十での実践を自然と共生する観光地域づくりのモデルとして、国内外に発信していきたいと考えています。

■クラブツーリズム株式会社 クラブ・コミュニティ事業部 鈴木光希

観光はいま、地域を訪れて消費する時代から、旅を通じて自然環境や地域社会をより豊かに再生していく『リジェネラティブツーリズム（再生型観光）』へと進化が求められています。クラブツーリズムが培ってきたテーマ旅行やコミュニティづくりの知見を活かし、本プロジェクトでは、来訪者が『王子の森 四万十』の豊かな生態系や地域の営みに深く触れ、楽しみながら保全と活力の創出に関わることができる体験やツアーを共創してまいります。旅人が一過性の来訪者にとどまらず、森と地域を支える継続的な応援者・関係人口となることで、次世代につながる好循環を生み出したいと考えています。王子ホールディングス様、アスエク様、四万十町の皆様とともに、ツーリズムの力で人と自然が共に育ち合う新たな旅の形を切り拓いていきたいと考えています。

本プロジェクトにおけるクラブツーリズムの参画背景・役割

クラブツーリズムは、「テーマのある旅」をはじめとする独自の旅行企画を通じてお客さまの趣味や関心に寄り添い、地域ならではの魅力や文化に触れる機会を提供してきました。また、全国各地の自治体・企業と連携し、旅行を通じた地域の魅力発信や持続可能な観光の実現にも取り組んでいます。

昨今では自然資本に係る保全と活用のを目指す「リジェネラティブツーリズム」の推進にも注力しており、JATA 主催の 「SDGs アワード」や観光庁主催の「サステナブルな旅アワード」にて関連プロジェクトが複数受賞いたしました。

本プロジェクトでは、旅行会社として培ってきた商品企画のノウハウと顧客との接点を活かし、自然環境の保全と観光を結びつける取り組みを推進します。

〔クラブツーリズム株式会社は、KNT－CTホールディングスのグループ会社です〕